

## 第 51 回卒業証書授与式 1 日

1 日(火)、第 51 回卒業証書授与式を挙行し、有村校長先生より 152 名の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

校長先生は、「学びを行動に変えて、成長し続ける人であって欲しい。」「大きな夢のかけらを大切にしたい。」「そして「思いやりと感謝の心を持ち続けて欲しい」と式辞を述べられました。

また、生徒会長の清松翔輝君(E2)が「幾多の困難や人生の岐路に不安を感じることがあっても、島工での学びが背中を押してくれると信じて夢に向かって力強く羽ばたいてください。」と送辞を贈り、卒業生代表の吉田康将君(E3)が、「島工で得た最高の仲間を一生の宝にします。在校生はこの学校で素晴らしい思い出をつくり、母校 島原工業高校を発展させてほしい」と答辞を述べました。

厳粛な雰囲気が始まる素晴らしい卒業証書授与式でした。3 年生の皆さん、卒業おめでとう。



卒業証書授与(上) 卒業生入場(下)

## 地元企業による就職セミナー 4 日

4 日(金)、地元の企業等 18 社から採用担当者が来校し、2 年生を対象とした就職セミナーを開催しました。生徒は 3 社を選び、各企業の内容や業務に関しての説明を受けました。セミナー後の生徒の感想には「全部の企業の話を知ることができた。」「企業の内容を知ることができて良かった。もっと長時間聞きたかった。」「県内にも素晴らしい企業がたくさんあって、県内就職も悪くないと思った。」など県内就職に前向きな意見も多くありました。

### 【参加企業】

ジャパン・マリン・ユナイテッド、島原トック協業組合、日立造船(株)有明工場、(株)東洋機工、新田鉄工(株)、ミナミ化工産業(株)本多産業、不二ライトメタル(株)、(株)九電工、筑波エレクトロ、(財)九州電気保安協会、(株)イシマル、三菱電機(株)長崎製作所、星野建設(株)、長崎船舶装備(株)、吉川建設(株)、吉川組、川田建設工業(株)



企業の説明に耳を傾ける生徒達

## 平成 28 年度入学者選抜 学力検査 8・9 日 合格発表 16 日

8 日(火)・9 日(水)、平成 28 年度入学者選抜の学力検査を行いました。87 名の受検生が、1 日目の「国語」「英語」「理科」、2 日目の「社会」「数学」の学力検査に、そして午後からの面接に臨みました。

16 日(水)9 時 30 分、本校体育館において、推薦入学者を含めた合格者 120 名の受検番号が発表されました。



自分の番号を探す受検生

## 島原市がまだす高校生議会 18 日

18 日(金)、島原市合併 10 周年事業として市内の高校生から 20 名の議員を選出し、「島原市がまだす高校生議会」が島原市議会場で行われました。

本校からは議員委嘱を受けた小林正人君(F2)、溝口廉之介君(F2)、松本誠君(F2)、田中武牙士君(A1)が参加しました。

溝口君、松本君、田中君は、島原市公式キャラクター「しまばらん」の有効的な活用方法や観光しやすくするための交通整備など、島原観光の活性化に関する質疑を行いました。また、小林君は高校生議員を代表して議長を務め、立派にその大役を果たしました。4 名にとっては、議会政治への関心を高めるたいへん貴重な経験になったと思います。



答弁に立つ古川市長と議長の  
大役を務める小林君(後ろ)

## 3 学期校内競技大会 22 日

22 日(火)、校内競技大会を行いました。

競技は、団体戦のソフトボール、サッカー、バスケットボール、バドミントンを個人戦のリバーシを実施しました。

結果は以下のとおりです。

### 【団体戦(優勝)】

ソフトボール：電子機械科 2 年      サッカー：建築科 1 年  
バスケットボール：機械科 2 年      バドミントン：機械科 2 年

### 【個人戦(優勝)】

リバーシ：中島直輝君(A2)

### 【総合】

優勝：機械科 2 年      準優勝：建築科 2 年



ソフトボール競技の様子

## 表彰伝達式 22 日

校内競技大会の閉会式後に、表彰伝達式を行い大村バスケットボール協会会長杯（12 日開催）で優勝したバスケットボール部と、第 42 回長崎県高等学校リトニス競技個人選抜大会において優勝した高木純也君（F2）と宮崎潤君（M2）のペアの表彰を行いました。なお、高木・宮崎ペアは、6 月に北海道札幌市で開催される「第 45 回ゴースン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス 2016 年」に本県代表として出場します。



表彰を受ける生徒

## 合格者説明会 23 日

23 日(水)、平成 28 年度入学予定者に対して説明会を行いました。説明会に先立ち、南島原市防犯協会の成末桂子様による「メディア安全講話」を実施し、実例を交えたメディアリテラシー教育やスマートフォン使用のルールづくり等について、合格者と保護者に対してお話をいただきました。その後、生徒指導部や進路指導部など各部からの説明を行い、入学用品の販売を行いました。

## 3 学期終業式 24 日

24 日(木)、3 学期終業式を行いました。有村校長先生は、校長訓示で校長として赴任した平成 24 年度から昨年までの 3 学期終業式での訓示を振り返り、平成 27 年度の訓示として、「仕事には、次の 3 つの種類がある。それは、『自分の仕事』『他の人の仕事』『誰の仕事でもない仕事』である。責任を取りにくい。『誰の仕事でもない仕事』を取りに行くことが立派な大人である。それを島原工業の伝統にして欲しい。自分で学び、鍛える人になって欲しい。」と生徒への願いを話されました。

## 離・退任式 24 日

先生方、たいへんお世話になりました。  
いつまでもお元気で！

平成 28 年度の人事異動が発表され、本校からは有村校長先生をはじめ 13 名の先生方とお別れすることになり、3 学期終業式後に離・退任式を行いました。

式では、在校生に対して次のようなメッセージをいただきました。

【ご退職】

校長 有村圭一郎 先生

「島工は私自身の憧れの学校。大切なものは目には見えないもの。その目に見えないものが私を支えてくれている。これからも、島原工業は輝いていて欲しい。」

地歴公民科 上田 利恵 先生（再任用で島原農業高校へ赴任）

「どの教科も一生懸命勉強して欲しい。いろいろ学んで、卒業するとき自分はよく頑張ったと思えるようになって欲しい。」

機械科 長塚 邦夫 先生

「能力はある。力を出し惜しみせず、全力で頑張っていて欲しい。そのために目標をもって頑張っていて欲しい。」

機械科 尾上 秀之 先生

「今、頑張ることで、一年後、二年後の満足いく生活を着くって欲しい。学校も生徒も大好きでした。」

【ご転出】

機械科 荒木 宏和 先生（大村工業高校へ転出）

「島原半島という地元に自信を、島原工業高校出身であることを誇りとして、偉大な田舎者に成って欲しい。」

電子機械科 高田 佳男 先生（鹿町工業高校 教頭として転出）

「来年度から 3 学科になることは残念。最後の学科の生徒として頑張っていて欲しい。後輩を思いやって、もっともっと島工を活気づけて欲しい。」

電気科 小林 雄二 先生（上五島高校へ転出）

「私の出身である広島の特産品『ふりかけ』のように、目立たないけどなくてはならない、みんなに愛される人になってください。」

英語科 本多 鈴子 先生（五島海陽高校へ転出）

「『人に伝わる英語』『丁寧な英語』を目指す中で、教科書との相違を感じた。皆さんからたくさんの温情をいただきました。本当に感謝いたします。ありがとうございました。」

保健体育科 辻 圭太郎 先生（佐世保中央高校へ転出）

「初めての経験で不安もあったが、生徒や先生方に囲まれて充実したアツという間の一年間でした。辛い事やきつい事から逃げ出さず向かって行って欲しい。バレー部をよろしくお願いします。」

数学科 寺田 剛史 先生（島原農業高校へ転出）

「出来れば、今の 2 年生が卒業するまで居たかった。当たり前と思うことに対して感謝の気持ちを忘れずいて欲しい。」

電子機械科 半田 彬 先生（佐世保工業高校へ転出）

「充実した一年間だった。面倒だと思うことをやり遂げ、達成感や自信を持つことができた。皆さんも勉強や部活に頑張っていて欲しい。」

上記の先生以外に、離・退任式には校務等の都合で出席されませんでしたが、電子機械科の平康太郎先生が長崎工業高校へ、事務主任の諸岡美砂子先生が諫早高校へ転出されます。



在校生へメッセージを贈る離・退任される先生方